

2010年1月4日

廣瀬 博 社長 年頭あいさつ要旨

2007年度から取り組んできた中期経営計画の中で、**将来の発展につながる重要なプロジェクトを積極的に進捗させてきた**。最重要課題である「ラービグ計画」に関しては、ペトロ・ラービグ社の全設備が昨年秋、稼働を開始した。偏光フィルム製造設備の能力増強、住化武田農薬の統合、大日本住友製薬による米国医薬品会社の買収などの取り組みのほか、高分子有機ELや、ライフサイエンス、エネルギー関連製品などの開発も着実に進展させた。これらの案件について、本格的な拡販、研究テーマの早期事業化を実現し、期待収益を少しでも早く計上できるよう努力していく。

当社グループを取り巻く環境の長期的展望をふまえ、本年4月から始まる新中期経営計画では、**グローバルな事業展開を加速し**、今後、成長が大きく見込まれる「**環境・エネルギー**」、「**ライフサイエンス**」、「**ICT (Information & Communication Technology)**」の分野に一段と注力していくことにより、**世界の化学産業におけるリーディングカンパニーになることを目指したい**。これらの分野において、製造・販売・研究・管理部門が一体となって新たなビジネスを育成するとともに、特に地球温暖化問題へは、化学技術を生かし、さらにプロアクティブに取り組んでいく。

また、国際競争に勝ち抜いていくため、グローバルな最適生産体制の構築、徹底した合理化、抜本的な採算改善などを通じた、**コア事業・基盤事業のコスト競争力の一層の強化、グローバルかつ効率的な経営システムの強化**に取り組んでいく。

今年1年、心がけてほしいことを3点申し上げる。**1つ目は、連携の強化**。「創造的ハイブリッド・ケミストリー」を追及するにあたっては、事業の高付加価値化を進める観点から、組織を越えた連携を一層加速させることが重要。部門間で共通するテーマについて、連携を深め、新たな技術、価値の創造を目指してほしい。**2つ目は、変化に対する感受性を高めること**。変化への感度を研ぎ澄まし、コミュニケーションに努め、変化をいち早く読み取り、あらゆるチャンスにつなげてほしい。**3つ目は、志を高く持つこと**。「志有るものは事ついに成る」。直面している諸課題も、将来を見据えて懸命に努力を重ね、グローバルな視野をもってねばり強く取り組み、立ちどころの数々の困難をも乗り越え解決していくことができると確信している。グループの全社員が気持ちを新たに、ともに高い志を持って、次のチャレンジングなテーマに挑んでいこう。

以上